

平成 19 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 モロゾフ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 川喜多 佑一
 (コード番号 2217 東証・大証第1部)
 問合せ先 代表取締役副社長 松村 有芳
 (TEL. 078-822-5000)

中期経営計画『プロジェクトM』の進捗について

2006年1月期から2008年1月期までの3カ年を実行期間とする当社の3カ年中期経営計画『プロジェクトM』は、以下の4項目を柱とし「持続的成長と構造改革の加速による高効率経営の達成」を目指してスタートしました。

- ①新業態、新チャネル開発展開の加速による売上・利益の確保
- ②商品品質、サービス品質の安定向上による安全安心の確保
- ③顧客第一主義の徹底によるブランド品位の向上
- ④環境への配慮、IRの積極的取組みによる企業価値の向上

これらは、【中期経営計画、単年度予算、目標管理制度を基盤としてPDCAのサイクルを機能させ、業績のV字回復を達成するとともにその進捗を適時適切に情報開示する】事を基本として継続して取り組んでおります。

1. 『プロジェクトM』の進捗

2005年度(2005年2月～2006年1月)

- 数値計画の進捗

2005年度	当初計画(a)	実績(b)	差異(b-a)
売上高(百万円)	24,200	24,866	+666
営業利益(百万円)	370	349	▲21
ROE(%)	2.0	1.6	▲0.4

売上高は計画を666百万円上回り、第2年度の目標値に近い数字を達成する幸先の良いスタートが切れたものの、原材料費の高騰や売上原価の高止まりにより、営業利益は計画を21百万円下回りました。尚、ROEについては当期利益が若干計画を下回った上、利益剰余金の増加や有価証券評価差額金の増加に伴う自己資本の増加により、計画を0.4%下回りました。

2006年度(2006年2月～2007年1月)

- 数値計画の進捗

2006年度	計画(a)	実績(b)	差異(b-a)
売上高(百万円)	24,900	25,979	+1,079
営業利益(百万円)	450	633	+183
ROE(%)	0.2	2.4	+2.2

2006年度については、新設した六甲アイランドオフィスへの集約によるP&Pスタジオ(神戸市中央区)・本社別館(神戸市東灘区)の除売却損や生産体制再構築に伴う償却負担増もありましたが、売上高が259億79百万円と最終年度の目標値を579百万円上回り、営業利益も増加となりました。また計画段階では減損損失の計上に伴い、150百万円の当期利益を見込んでおりましたが、構造改革の継続効果と税効果会計の影響による法人税等調整額がプラスに作用した結果、284百万円となりました。

た。従って、ROEも当初予定を大幅に上回る2.4%を確保することとなりました。

2007年度（2007年2月～2008年1月）

● 数値計画の進捗

2007年度	当初計画 (a)	修正計画 (b)	達成見込 (c)	差異 (c-b)
売上高 (百万円)	25,400	26,000	26,500	+500
営業利益 (百万円)	700	700	800	+100
ROE (%)	6.0	6.0	6.0	—

売上高は修正計画を500百万円上回る265億円の着地見込みです。輸入原材料を中心とした原材料の高騰など原価アップの要因は当分継続すると思われますが、下期のハロウィーン、歳暮ギフト、クリスマスを中心とした売上高確保とともに経費関連のコントロールを行い、計画以上の利益を確保し、ROEも当初予定通り6.0%を確保する見込です。

各戦略の進捗について

● プロジェクトMで掲げた3つのMで検証

MONUMENT

創業75周年のMONUMENT（記念碑）として建設した六甲アイランドオフィスへの集約により「製造・販売・管理・企画」の各部門が一堂に会し、情報共有・問題発生時の対応のスピードアップなど部門間の【ベクトルの一致】が図れました。資産の売却も順調に進み、建設投資の回収期間は1.5年になりました。今後も【更なる業務融合】を進め、効果を最大限に創出できるよう努めてまいります。

MOVEMENT

環境への配慮については、六甲アイランド事業所にて2008年2月、ISO14001認証取得を目指します。生産体制再構築は予定通り完遂しました。今後は更なる生産性向上と能力増強を行い、原価低減に努めます。IRの積極的展開については、ホームページ企業情報サイトや事業報告書の充実など、株主満足度向上のための活動を行っています。今後は環境マネジメント・社会貢献・広報も含めた【CSRの取組み】の強化に繋げていく予定です。

MARKETING

バレンタイン・チョコレート・カスタードプリン・チーズケーキ・半生菓子等基幹商品群の改変、CS（顧客満足度）活動、販売経路の拡充といった各部門の業務活動は売上高、利益を改善しただけではなく、ブランド品位の向上にも貢献したと考えます。また、新ブランド【モロゾフ グラン】については1号店を出店し、拡大展開に向け、準備を進めています。一方、現行ブランドについては、実態把握と整理統合を開始いたしました。次期中期経営計画においても継続した取り組みを行います。

2. 『プロジェクトM』の今後の予定

V字回復を目標とした3ヵ年中期経営計画『プロジェクトM』は残すところ約4ヶ月強となりましたが、当初計画を上回る進捗を見せております。残る期間につきましてもこの勢いを緩めることなく、計画の完遂を目指してまいります。

また、次期中期経営計画（2008年度～2010年度）につきましても、2007年度中の然るべきタイミングで情報開示を行う予定であります。

本資料の見通し、計画などに関する記述は本資料作成時点において入手可能な情報をもとにした当社の予測であり、実際の実績はこれと異なる可能性があります。

以上